

第9回小田原市市民活動推進委員会 会議録

- 1 日時：令和2年7月29日（水）午前9時30分～午前11時40分
- 2 場所：おだわら市民交流センターUMECO 会議室2・3
- 3 出席者：前田委員長、益田副委員長、日下部委員、福田委員、加藤委員、善波委員、林委員、吉澤委員、杉山委員、菫澤委員
関係者：UMECO指定管理者 露木センター長、椎野副センター長、桂氏（議題（1）（2）のみ）
事務局：府川課長、森係長、岡崎主査

4 資料：

- ・次第
- ・資料1-1 令和3年度小田原市市民活動応援補助金交付事業の変更点について（案）
- ・資料1-2 令和3年度分小田原市市民活動応援補助金応募の手引き（案）
- ・資料2-1 令和2年度おだわら市民交流センターUMECO事業について
- ・資料2-2 Hello!UMECO
- ・資料3-1 提案型協働事業第2次審査実施要領（案）
- ・資料3-2 提案型協働事業第2次審査採点表（案）
- ・資料4 諮問事項「市民活動団体の力をまちづくりに生かす」改善案

5 会議内容

■ 開会

■ 議題（1）市民活動応援補助金交付事業について

委員長：それでは、議題（1）市民活動応援補助金交付事業について、に入る。本委員会は、議事に関係のある方に出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。本議題に関し、おだわら市民交流センターUMECO指定管理者にお越しいただいている。それでは、ご説明をお願いしたい。

（事務局 資料1-1、1-2に基づいて説明）

（指定管理者 資料1-1、1-2に基づいて説明）

委員長：ただいまの説明で何か意見や質問はあるか。

委員：スタートアップコースの対象に制限を追加するということだが、交付実績のある団体から、子団体のような形で新規団体が設立された場合は、同一の団体とみなすのか。

事務局：事務局において過去に交付を受けたことのある団体と実質的に同一と判断した場合は、適切なコースを選択するよう促す。しかし、明確な区分けは難しく、また小田原市では団体間の連携の形として新規団体を設立することも多く、こういった場合も子団体と区別することは難しい。今のところ、団体名または代表者が異なっていれば、別団体と推定することになると考えている。場合によっては、委員会における審査時に、スタートアップコースではなくステップアップコース相当のものとみなす等、取扱いを相談させていただく可能性はある。

委員長：UMECO指定管理者において事業視察を行い、活動エリアに写真等を展示するというのは、大変よい試みである。今までは、事業報告会当日にUMECOに来なければ活動内容がわかりづらかった。

■ 議題（2）おだわら市民交流センターUMECOについて

委員長：それでは、議題（2）おだわら市民交流センターUMECOについて、指定管理者からご説明をお願いしたい。

（指定管理者 資料2-1、2-2に基づいて説明）

委員長：ただいまの説明で何か意見や質問はあるか。

資料2-2は、最終的にはカラーになるのか。

指定管理者：カラーで見やすいものにしたい。

委員：資料2-2は、どのような方が利用する想定なのか。また、目的は団体と団体をつなげるということによるのか。

- 指定管理者：自治会長への配布、UMECOを含む公共施設での配架を想定しているが、必要に応じ積極的に配布してまいりたい。
- 目的については、UMECO登録団体のうち地域活動団体ネットワーク形成事業に協力いただける団体を、事業とともに地域の方にわかりやすく紹介することで、地域課題の解決につなげることである。また、もう少し一般的に、「UMECOにはこんな団体が登録されている」という紹介にも使えると考えている。
- 委員：地域活動団体ネットワーク形成事業のためだけにつくるのはもったいないと感じる。団体と団体がつながったり、個人が見て活動を始めるきっかけにも使えるのではないかな。
- 指定管理者：登録団体にも配布したいと考えている。いろいろなことに活用したい。
- 委員長：地域の方に活用いただくのはもちろん、団体間の交流にも活用していただけたらよい。これから実施する市民活動入門講座でも、市民活動のハードルを下げる役割を期待できる。
- 委員：地域では、まちづくりのための事業を様々な主体と協働で行っている。活動の中で参考になり得る、今までの冊子がよりわかりやすくりニューアルされることに期待しているので、なるべく早期の配布を望む。地域によっては公民館に配架しているが、あまり活用されていないように感じるので、配布先も工夫していただきたい。また、UMECO自体の周知も必要であるので、役に立つ冊子になると思う。
- 委員：委員会の議論の中で、UMECOに登録していないNPO法人へのPRを強化すべき、ということが挙がってきている。せっかくの充実した冊子であるので、ぜひ活用していただき、新しいNPO法人の力も得て、市民活動を盛り上げていけたらと思う。
- 指定管理者：新規団体の中には、「自分たちの活動は地域のニーズとは合わない」と感じているところも多い。まずは地域への協力に意欲が高い130団体ほどで進めていくが、より多くの登録団体に参加していただけるよう工夫してまいりたい。
- 委員：冊子の索引と各団体の紹介に対応する番号を振ったほうが、探しやすいと思われる。
- 委員：とても見やすい冊子であり、広範な活用に期待したい。今まで地域の方は、どのような団体があり、どのような活動をしているかも分からなかったことから、特定の団体としか関わってこなかったと思う。UMECOには、ぜひ地域と団体のつながりをサポートしていただきたい。
- 委員：掲載団体が地域に協力できる団体であることを、よりわかりやすくPRできると良い。
- 指定管理者：いくつかご意見をいただいたので、検討させていただく。
- 委員：掲載団体は、どのようにして選んでいるのか。
- 指定管理者：団体登録時や更新時に、団体に地域への協力の意向を確認している。
- 委員長：UMECOのホームページ上で、PDFデータをダウンロードできるようにするのか。また、表紙で読点が不自然な箇所があるので、ご確認いただきたい。
- 指定管理者：ホームページ上に掲載する。読点については修正する。
- 委員：各団体の動画をホームページにアップするということがだが、ホームページの動作が遅くなり、ページ自体が使いづらくなるということは避けていただきたい。
- 指定管理者：外部ページへのリンク方法など、最適な載せ方を検討したい。
- 委員長：UMECO企画展で中止になった展示は、いずれ実施することはあるのか。
- 指定管理者：全てできるかはわからないが、希望があればできるだけ実施したいと考えている。多目的コーナーは人気があり空きがないが、ホワイエであれば空いているところもある。現在は館内を通り抜けできないため不人気だが、今後状況が変われば、そちらも活用しながら対応したい。
- 委員長：UMECO祭りについては、例年のように館内や建物沿いでの物販は行わずに、ホームページ上で開催するということがよろしいか。
- 指定管理者：現在、実行委員会で検討中だが、今のところそのとおりである。なお、ホームページに団体の紹介動画を掲載することになっており、その中で手作り作品を紹介し、視聴者が購入を希望するということはあるかもしていない。
- 委員：UMECO企画展に関連し先ほどお答えがあったが、既に決まっている展示の期間を短縮するなど調整に努めていただき、中止になってしまった団体に配慮してほしい。

委員 長：それでは、議題（２）については終了する。UMECO指定管理者はこれで退席となる。
本日は、大変お忙しいところ、時間をさいいただき感謝する。

■ 議題（３）提案型協働事業について

委員 長：次に、議題（３）提案型協働事業について、事務局からご説明をお願いしたい。
（事務局 資料 3-1、3-2 に基づいて説明）

委員 長：ただいまの説明で何か意見や質問はあるか。
（発言なし）

委員 長：それでは、案のとおり審査を実施することとする。

■ 議題（４）諮問事項「市民活動団体の力をまちづくりに生かす方策について」

委員 長：次に、議題（４）諮問事項「市民活動団体の力をまちづくりに生かす方策について」、事務局からご説明をお願いしたい。

（事務局 資料 4 に基づいて説明）

委員 長：ただいまの説明で何か意見や質問はあるか。

確認だが、こうした改善案を、本委員会からの提言として任期の最後に報告書としてまとめ、提出するというところでよろしいか。

事務局：今回の資料は叩き台であるので、まずは委員会で改善案を精査していただく。その後、すぐに実施できるものについてはその改善結果を、実施に時間がかかるものについては改善案を、報告書に掲載することになると考えている。

なお、改善案の中でも、特に有効だがさらなる検討を要するものについては、次期以降の本委員会のテーマとして提案させていただく可能性もある。

委員 長：例えば市民活動応援補助金について、現状では団体単独で行う事業が対象となっているが、今後は他市の事例なども踏まえ、「団体と自治会」「団体とCSR」といった協働に焦点を当てたメニューを追加すべき、といった提言もできると良いかもしれない。
自治会総連合とUMECOのホームページを相互にリンクするというのは、すぐに実現できるのか。

事務局：地域政策課において自治会総連合の事務局を担っているが、地域にとってもメリットがある取組であるので、理事会等に説明の上、実現できるのではないかと考えている。ただリンクを貼るだけではなく、趣旨の説明等が必要であるので、内容については検討したい。

委員 長：それでは、早期の検討をお願いする。

委員：「新春交流会」の目的と内容を整理する、とある。先ほどの議題で、指定管理者から「ZOOMを活用する」という話があったが、現実的に、各自治会長がオンラインでイベントに参加するという事は考えにくい。今年度は当該事業を中止するのも一案と思うので、しっかりと整理し、具体的に改善案として提示できると良い。

事務局：新春交流会が現在の形となる前は、団体相互の交流会であった。連合会長に参加いただいている現在も、まずは団体相互で交流することが最初の目的となっているので、こうしたことを踏まえて整理してまいりたい。

委員 長：連合会長の参加状況はどうであったか。

事務局：26名のうち、約20名の参加であった。

委員 長：そのぐらいの人数であれば、もちろんファシリテーターはオンライン会議には必要だが、UMECOの会議室で相互の距離を保って座っていただいて、サポートしながら実施するというのも可能かもしれない。

委員：20名の連合会長に参加いただいても、実際にイベントの中で話ができるのは数人であったと思う。オンラインでは全ての方と会えるよう、例えば順番に地域の良いところや団体と一緒にできると良いことを発表してもらったりと、テーマを設定すると良いのではないか。

委員 長：新春交流会に関する意見がいくつかあった。来年1月に実施するものに係る技術的な部分と、今後に向けての事業自体の内容整理に分けて検討が必要である。

委員：生涯学習活動と市民活動をリンクさせるという案があるが、一般市民は両者の違いが分からないことを念頭に置く必要がある。「自分時間手帖」と「Hello!UMECO」をリンクさせるのもよいが、一般市民にわかりやすく違いを伝えることも重要である。

委員長：広報小田原でUMECOをPRするというのは、実績はあるのか。

事務局：月1回の発行となっているが、毎月、UMECO企画展等のイベント情報を掲載するほか、10月または11月に市民活動特集としてUMECOのPRなどを掲載している。今年度も、10月に特集を掲載する予定である。

委員長：学生等若者向けに、交流エリアのテーブルにチラシを置くという案があるが、若干消極的に感じる。QRコード等で情報に誘導するほか、チラシはそもそも来館しない方には効果がないので、積極的にPRする手法を検討すべきである。

委員：登録団体は400ほどあると思うが、この資料における名簿は全団体が掲載されているものということでよいか。

事務局：「Hello!UMECO」を想定しており、全団体が掲載されているものではない。なお、先程の議題でご意見いただいたとおり、地域と団体だけでなく、団体同士の連携のために活用できれば、より有用なものとなる。より多くの団体を掲載できれば、団体同士の連携に使いやすくなると考えられる。UMECOとも相談しながら、より効果的な方法を検討してまいりたい。

■ その他

委員長：その他について、事務局から願います。

(事務局 今後の会議日程の確認及び調整)

第10回委員会・・・令和2年8月26日(水)午後2時30分 UMECO

部会・・・令和2年10月8日(木)午前 市役所

■ 閉会